

1 吉川経家公像

1920年(大正9)、鳥取吉川経家遺徳顕彰会が設立されるなど、吉川経家は忠義ある武将として古くから市民に慕われています。



2 大手登城路

1621年(元和7)、城の正面玄関として整備されました。現在、擬宝珠橋(ぎぼしぼし)と申ノ御門(なかのごもん)が復元されています。



3 切石積石垣

城内唯一の白色花崗岩の切石積石垣です。



4 山下ノ丸最古の石垣

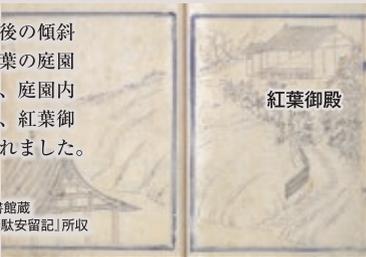
宮部時代に築かれたとされる石垣です。



5 紅葉御殿跡

三ノ丸背後の傾斜地は、紅葉の庭園が広がり、庭園内の建物は、紅葉御殿と言われました。

鳥取県立図書館蔵
『稲葉佳景 無駄安留記』所収



6 登城路から二ノ丸、天球丸を望む

鏡石(かがみいし)を配した石垣の他、高低差を利用した登雁木(のほりがんぎ)などの石垣が重なって見えます。



7 天球丸・巻石垣(復元)

1807年(文化4)頃に背後の石垣が孕(はら)み出し、その崩落を防止するため築かれた球面石垣です。



8 時代の異なる建物跡(復元)

石垣修理で見つかった天球丸三階櫓と武器蔵の出土状況を再現しています。



9 八幡宮跡

10代藩主池田慶行の産土神である三田八幡宮(現・御田八幡神社)(東京都港区)を勧請した神社の跡です。境内は巻石垣を応用して築かれています。



10 お左近の手水鉢

三階櫓の石垣を築く際にお左近(鳥取城の改築で活躍した女中)の手水鉢を築き込んだことで無事工事が完了したと伝わっています。



11 石切場

二ノ丸背後にある露出岩盤は、1619(元和5)頃からはじまった城の大改修の際に石垣の石材を調達した石切場跡です。



12 登石垣

1849年(嘉永2)に拡張された二ノ丸の北端には、幕末のものとしては国内唯一の登石垣が築かれました。



13 西坂下御門(復元)

1867年(慶応3)に創建されましたが、1975年(昭和50)の大風で倒壊破損し、現在の門が復元されました。



14 鳥取運動場碑

もと城代屋敷、厩(うまや)、米蔵の敷地は大正時代に運動場として利用されました。山際には当時の観客席や掲揚台の基礎が残っています。



15 宝隆院庭園(市指定名勝)

参勤交代緩和で1863年(文久3)に11代藩主夫人が帰国し、扇御殿と庭園が新たに造られました。その御殿跡に仁風閣が建ちました。



16 小鍛冶の石船

鎌倉時代の刀工因幡景長が焼き入れに使用したとされる石船です。もと二ノ丸走櫓の縁側にありました。

